

利根沼田地域 定住自立圏共生ビジョン

令和3年2月15日策定
(令和6年10月23日変更)

群馬県 沼田市

目 次

第1章 定住自立圏共生ビジョンの概要

1 定住自立圏及び自治体の名称	1
(1) 定住自立圏の名称	1
(2) 圏域を形成する自治体の名称	1
2 定住自立圏共生ビジョンの目的	1
3 定住自立圏共生ビジョンの期間	1

第2章 圏域の概要

1 各自治体の概況	2
(1) 圏域の地勢	2
(2) 圏域の概況	2
(3) 自治体要覧	3
2 人口	6
(1) 将来人口の推計	6
(2) 年齢3区分別人口の推計	7
3 通勤及び通学の状況	8
4 都市機能	9
(1) 主な都市機能の集積状況	9
(2) 都市機能の利用状況	11

第3章 圏域の将来像

1 定住自立圏形成の基本方針	14
2 圏域の将来像	14

第4章 形成協定に基づき推進する具体的な取組

1 施策の体系表	15
2 生活機能の強化に係る政策分野	16
3 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	25
4 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	26
(別表)	27

資料編

1 利根沼田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	32
2 利根沼田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	33

第1章 定住自立圏共生ビジョンの概要

1 定住自立圏及び自治体の名称

(1) 定住自立圏の名称

利根沼田地域定住自立圏

(2) 圏域を形成する自治体の名称

沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町

2 定住自立圏共生ビジョンの目的

利根沼田地域定住自立圏共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日付総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定に基づき、人口定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、地域活性化を図るため、利根沼田地域が目指す将来像を示すとともに、その実現のために、圏域を形成する自治体が連携して取り組む具体的な事業内容を明らかにするものです。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

本ビジョンの計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。ただし、必要に応じて、関係者を委員とする利根沼田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会における検討を経た後、圏域を形成する自治体間で協議した上で所要の見直しを行い、共生ビジョンを変更していきます。

第2章 圏域の概要

1 各自治体の概況

(1) 圏域の地勢

利根沼田地域は群馬県の最北端に位置し、三国山系や、帝釈系、日光連山、赤城山などの山々に囲まれ、群馬県全体の27.8%を占める圏域の総面積は1,765.75平方キロメートルで、その86%が森林地帯となっています。

これらを水源とする利根川、赤谷川、片品川、薄根川等、大小の河川を活用した豊富なダム群によって、首都圏の水がめとしての機能を担っています。

地形的な特徴は、山岳地帯や丘陵地帯が圏域の多くを占めていること、河川の開析などによる段丘の発達や谷、盆地の形成があることです。300mの沼田盆地から2,000m級の山岳地帯までと標高差も大きく、「利^{とが}嶺^ね（根）」を由来とする「利根」という地名に、その地形の複雑さが表れています。

地形の影響からも気候は多様で、圏域の北部は日本海型気候域に属する多雪地帯であり、みなかみ町の年平均最低気温はマイナス4.6℃、年平均最高気温は28.4℃、年平均気温は、10.3℃、年間降水量は1,733.7mm。圏域の南部は太平洋型気候で、沼田市の年平均最低気温はマイナス4.8℃、年平均最高気温は29.9℃、年平均気温は、11.6℃、年間降水量は1,124.9mmとなっています。夏は暑く、冬は寒く、昼夜の寒暖差や湿度の変化も大きい季節感のある地域です。

(2) 圏域の概況

利根沼田地域は、沼田市、片品村、川場村、昭和村及びみなかみ町の1市1町3村の自治体で構成されています。明治22年、町村制施行時の1町16村が昭和・平成の市町村合併により再編されましたが、それぞれの結びつきは深く、歴史や文化、経済を共に育み、生活・産業基盤を共有する一体感の強い地域です。

首都東京から直線距離で約125kmから150kmの位置にあり、東京を中心とした位置関係で比較すると、東は茨城県日立市、西は静岡県静岡市と同距離にあたり、時間的距離についても、JR上越新幹線で約1時間、関越自動車道で約2時間と、生活・経済環境においても利便性や効率性の高い立地条件にあります。また、尾瀬や上信越で知られる国立公園や全国有数の温泉地、農林水産物などの豊かな自然を活用した産業が展開している地域です。

現在、それぞれの自治体では、人口の減少や高齢化の進展、農業をはじめとした後継者不足、市街地の空洞化、観光客の減少、教育環境の維持など様々な行政課題に直面していますが、それぞれの地域で、住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持していくために地方創生の取り組みを推進しています。

(3) 自治体要覧

ア 沼田市

あらまし	産業・経済	観光施設・公共施設等
■群馬県の北部に位置し、皇海山・赤城山・武尊山など日本百名山に挙げられる山々に四方を囲まれ、東西に長く、標高は250メートルから2,000メートル余りに及ぶ起伏に富んだ地形で、総面積443.46平方キロメートルの自然豊かなまちです。 ■市街地は、市域を南北に貫流する利根川とその支流の片品川・薄根川により形成された日本有数の河岸段丘上に広がっています。 ■首都圏とのアクセスは、昭和57年に上越新幹線が、昭和60年に関越自動車道新潟線が開通して飛躍的に向上しています。	■農業は、レタス、大根、とうもろこし、トマト、えだまめ等の野菜栽培とりんご・ぶどう・さくらんぼ・ブルーベリー・プラム・プルーン等の果樹栽培が盛んで、季節にはたくさんの観光客が訪れます。 ■工業は、豊かな森林資源を生かして木工製品（桐下駄・湯呑み・茶箆など）などが作られています。	■玉原高原（ブナ林、水芭蕉、ラベンダーパーク、スキー） ■迦葉山弥勒寺（天狗面） ■沼田公園（さくら、季節の花） ■運動公園（陸上競技場、野球場、市民プール） ■老神温泉 ■しゃくなげの湯 ■望郷の湯 ■テラス沼田（庁舎等複合施設）

イ 片品村

あらまし	産業・経済	観光施設・公共施設等
■群馬県の北東に位置し、北は新潟・福島、東は栃木の各県に接しています。 ■ラムサール条約に登録され、単独の国立公園となった尾瀬をはじめ、武尊山、白根山、至仏山など2,000メートル級の山々に囲まれた山地で、村の北東部は日光国立公園にも含まれています。 ■四季を彩る山岳景観や、丸沼・菅沼の神秘的な湖を有する素晴らしい自然環境に加え、スキー場が5カ所、温泉地が9カ所、平成の名水百選認定を記念した水場が10カ所あり、年間を通じて観光客は絶えません。	■農業は、高原の気候を生かしてダイコン・トマトなどの野菜を中心に栽培。 ■観光地としての特性を生かした観光農園の育成やグリーン・ツーリズムを推進しています。 ■工業はボタンの製造や、精密機械産業が盛んに行われています。 ■多彩な自然を求める観光客が年間をとおして訪れるため、温泉とのタイアップや観光標識の統一、施設の整備を図るなど、尾瀬を有する美しい村のイメージにふさわしい村づくりを行い、さらなる観光客の誘致に努めています。	■スキー場5カ所（スノーパーク尾瀬戸倉・ホワイトワールド尾瀬岩鞍・かたしな高原スキー場・丸沼高原スキー場・スノーパル・オグナほか） ■キャンプ場（武尊牧場キャンプ場・菅沼キャンプ村・丸沼高原オートキャンプ場・花咲森のキャンプ場・尾瀬高原オートキャンプ場） ■日帰り温泉（花の駅片品「花咲の湯」・寄居山温泉ほっこの湯） ■道の駅尾瀬かたしな

ウ 川場村

あらまし	産業・経済	観光施設・公共施設等
■武尊山の南麓に広がる自然豊かな農山村です。 ■村内には、薄根川をはじめ一級河川が4本、各地区の山裾からは武尊山の伏流水が湧き出ており、川の多い場所であることが村名の由来です。 ■川場温泉など6つの温泉が古来より村を潤しています。 ■村の主産業である農業に観光と環境を合わせた村づくりを推進しています。 ■東京都世田谷区とは、「縁組協定」により都市と農村の交流事業も39年が経過し、文化、教育、スポーツ、産業など各分野において、行政の交流事業から村民、区民同士の交流へと発展し、全国から高い評価を受けています。	■基幹産業の農業は、こんにゃく・酪農・果樹・米を中心に栽培。特に米は、川場産こしひかり「雪ほたか」の名称でブランド化され全国的に知名度が向上し、観光産業施設（川場田園プラザ・川場スキー場・世田谷区民健康村）と連携した「農業プラス観光」の施策を展開しています。 ■村総面積の83パーセントを占める森林を活用するため、木材コンビナート事業を開始し、製材所・木材チップを燃料とするバイオマス発電所・発電所の廃熱を活用した温室農業でいちごを栽培。 ■年間200万人を超える観光入込客があることから、直売や観光産業育成に重点を置き、振興しています。	■ホテル田園プラザ ■川場スキー場 ■川場村歴史民俗資料館 ■道の駅川場田園プラザ（ビールレストラン武尊、そば処虚空蔵、ファーマーズマーケット、ミート工房、ミルク工房、チーズ工房、ピザハウス、麵屋川匠、カワバプレミアム）

エ 昭和村

あらまし	産業・経済	観光施設・公共施設等
■昭和33年に久呂保村と糸之瀬村が合併して誕生しました。 ■赤城山の北西麓に広がる広大な農地を有し、農業を基幹産業とした純農村地帯です。 ■利根川や片品川が四季折々に姿を変え、四季を肌で実感することができる自然豊かな村であり、年間を通じて生産される多くの農産物は、首都圏の食卓を彩ります。 ■豊かな野菜の食文化を創造・発信できる村、住んでみたいと感じる村を目指し、村の将来像を「みんなでつくろう元気な昭和村」として、豊かな大地に根を張った、心やさしく行政と住民が協働した村づくりを進めています。	■準高冷地の特性を生かし、コンニャクやレタスなどの高原野菜を中心に、りんご等の果樹、花き、酪農・畜産など幅広い生産活動が行われており、農業立村という特性を生かした『農村産業』の確立を図ります。 ■商工業については、昭和インターチェンジ隣接の関屋工業団地に進出した優良企業等に対する支援と道の駅の集客力の向上を図ります。 ■農・商・工業のバランスの取れた村づくりを推進しています。	■昭和の湯 ■赤城山船ヶ鼻登山道 ■昭和の森ゴルフ場 ■道の駅めぐりーむ昭和 ■多目的屋内運動場 ■総合運動公園 ■ふれあいグリーンパーク ■千年の森サッカー場

オ みなかみ町

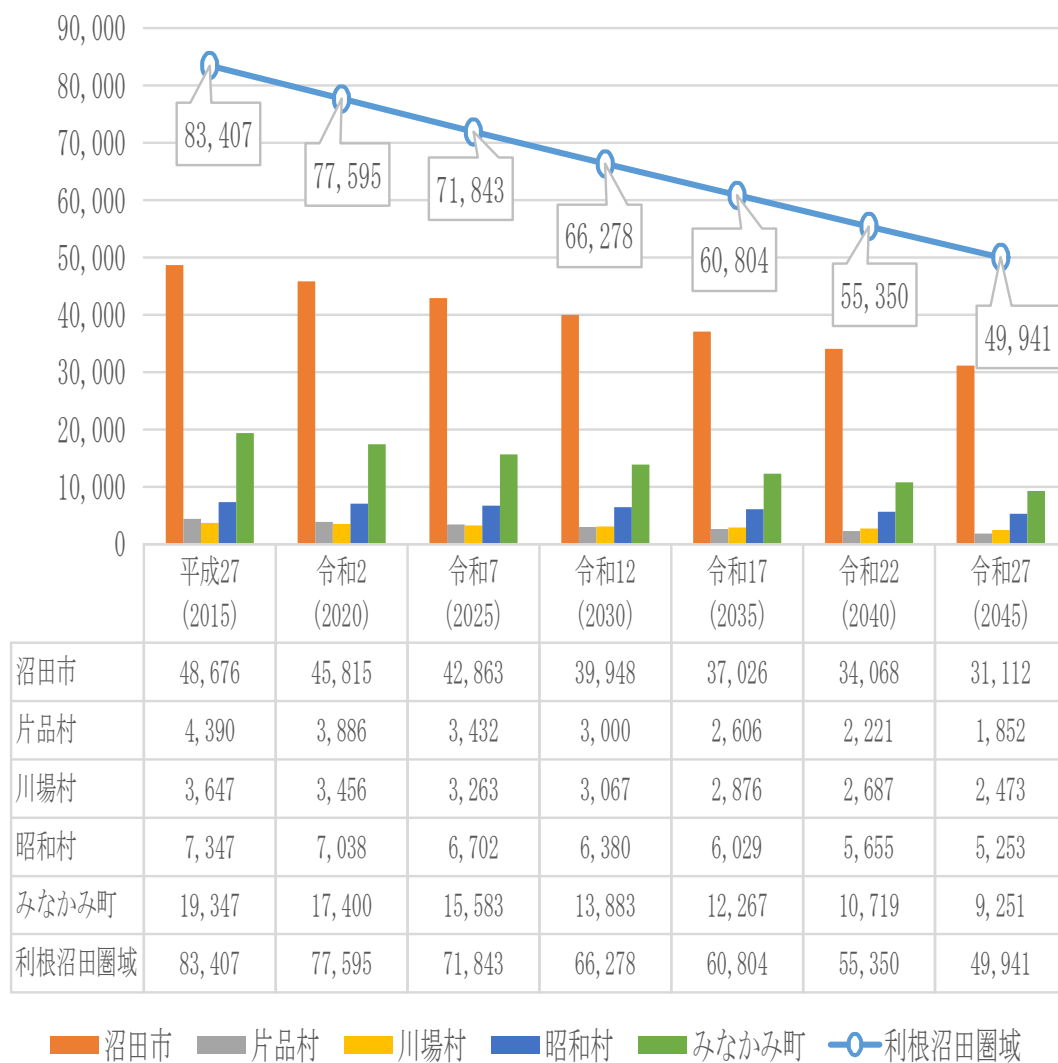
あらまし	産業・経済	観光施設・公共施設等
■群馬県の最北端に位置し、谷川岳、平ヶ岳、三国山などで新潟県と接しています。 ■東京からの直線距離は約150km。JR上越線や上越新幹線、関越自動車道や国道17号線などにより、首都圏からのアクセスに恵まれています。 ■北部は谷川岳など豊かな山々に囲まれた山岳地帯、南部は谷川連峰に源を発する利根川の清涼な水が農作物を育む地帯が形成されています。 ■利根川の源流として5つのダムが設置され、首都圏の経済や生活を維持する大切な水源地域です。 ■昭和24年に上信越高原国立公園に指定され平成29年には「みなかみユネスコエコパーク」としてユネスコ生物圏保存地域に登録されています。	■首都圏から近距離にある雄大な自然環境と豊富な温泉群を有しており、恵まれた交通網と豊かな自然を背景に、観光と農業を融合したまちづくりを推進しています。 ■災害に強い地理的要件を活かして、製造業を中心とした企業などの誘致を進めています。 ■産業別構造は、主要産業が観光サービス等の第3次産業であり、次に製造業や建設業などの第2次産業、農林業などの第1次産業の順となっています。	■たくみの里 ■みなかみフルーツランドモギトーレ ■三峰の湯 ■遊神館 ■まんてん星の湯 ■上牧風和の湯 ■湯テルメ谷川 ■ふれあい交流館 ■真沢の森（宿泊、日帰） ■みなかみ水紀行館 ■山岳資料館 ■清流公園 ■矢瀬親水公園 ■月夜野は一べすと ■赤沢スキー場

2 人口

(1) 将来人口の推計

国勢調査によると、平成27（2015）年の本圏域の人口は、83,407人でしたが、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、今後も減少傾向が続き、令和27（2045）年には49,941人となると予測されています。

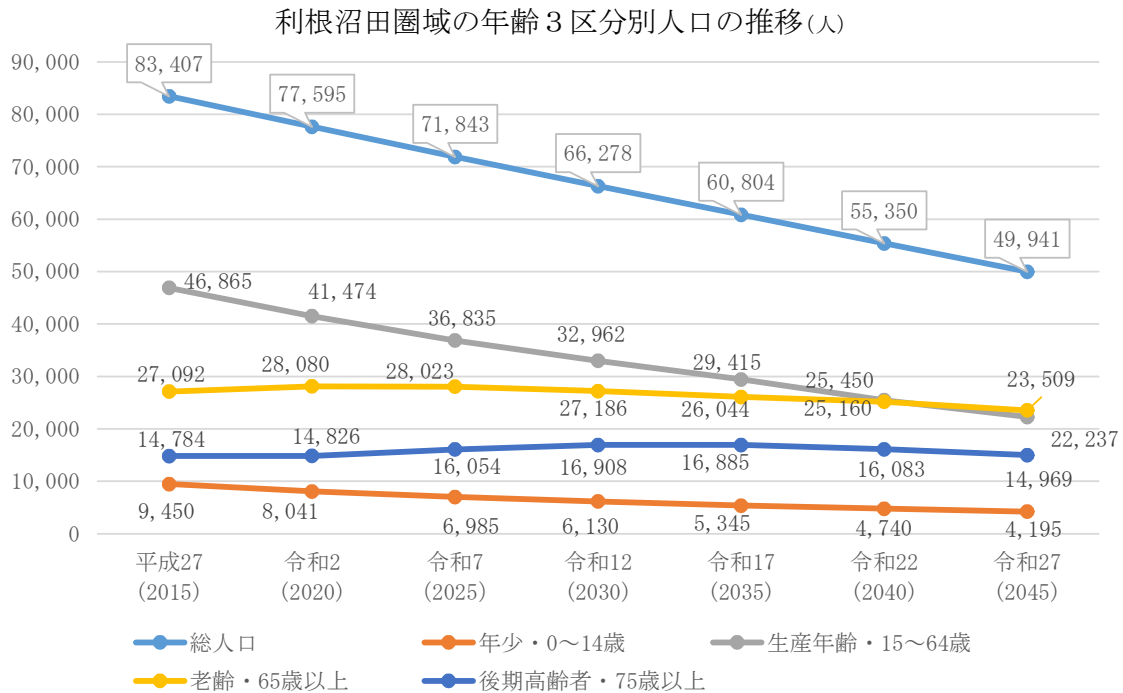
利根沼田圏域の総人口の推計（人）



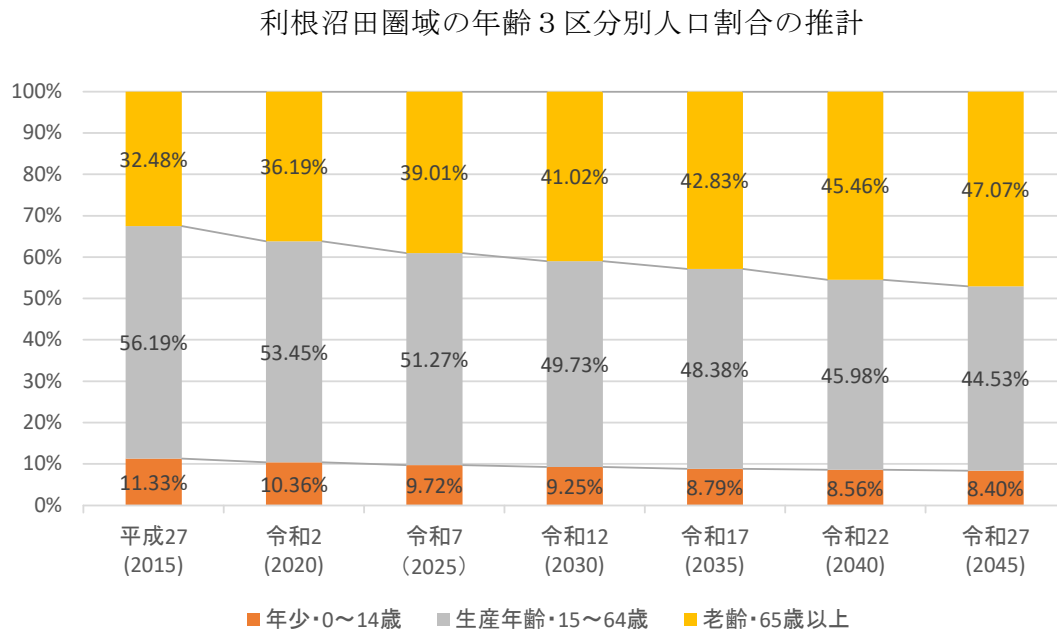
出所：国立社会保障・人口問題研究所

(2) 年齢3区分別人口の推計

高齢人口が横ばいに推移していく一方で、生産年齢人口の減少が総人口の減少に大きく影響していくと考えられます。また、高齢人口と生産年齢人口は、ほぼ同数の状況に転じていく傾向にあります。



出所：国立社会保障・人口問題研究所



出所：国立社会保障・人口問題研究所

3 通勤及び通学の状況

沼田市への通勤・通学者の割合が0.1以上の町村は、次のとおりです。

市町村名	常住する就業者数 及び通学者数 (人) ※自宅就業者を除く	沼田市への 通勤・通学者数 (人)	沼田市への 通勤通学割合 (率)
片品村	2,077	406	0.195
川場村	1,595	627	0.393
昭和村	3,481	920	0.264
みなかみ町	9,971	1,934	0.194

資料：国勢調査

沼田市から近隣町村への通勤・通学者の割合は、次のとおりです。

市町村名	常住する就業者数 及び通学者数 (人) ※自宅就業者を除く	沼田市への 通勤・通学者数 (人)	沼田市への 通勤通学割合 (率)
片品村	2,077	289	0.139
川場村	1,595	603	0.378
昭和村	3,481	989	0.284
みなかみ町	9,971	1,679	0.168

資料：国勢調査

4 都市機能

(1) 主な都市機能の集積状況

沼田市における公共施設等による各種サービス機能、医療・保健機能、商業施設、その他の行政及び民間分野に係る都市機能の集積状況は、概ね次のとおりです。

分野	都市機能	主な施設
医療・保健	公立等病院	国立病院機構沼田病院
	民間病院	沼田脳神経外科循環器科病院、内田病院、利根中央病院
	休日夜間診療所	沼田利根医師会休日夜間診療所
	診療所	一般診療所36、歯科診療所27
	保健所	利根沼田保健福祉事務所
福祉	老人福祉施設等	特別養護老人ホーム8、養護老人ホーム1、軽費老人ホーム2、老人デイサービスセンター31、老人短期入所施設4、老人福祉センター1、老人介護支援センター5、老人保健施設3、認知症対応型共同生活介護7、有料老人ホーム4、地域包括支援センター1
	障害者支援施設等	就労継続支援事業所3、生活介護事業所4、共同生活援助事業所2、地域活動センター4、児童発達支援事業所3、放課後等デイサービス事業所7
	児童福祉施設	保育所9、認定こども園4、地域型保育施設1、企業主導型保育施設1、病児保育施設2、地域子育て支援拠点3、放課後学童クラブ15、ファミリー・サポート・センター1
教育	高等学校	県立沼田高等学校、県立沼田女子高等学校、県立尾瀬高等学校、県立利根実業高等学校
	特別支援学校	県立沼田特別支援学校
	職業訓練	利根沼田地区高等職業訓練校、利根沼田テクノアカデミー
文化・スポーツ	社会教育・文化施設等	沼田市中央公民館、地区公民館（利南・池田・薄根・川田・白沢・利根）、沼田市立図書館、沼田市歴史資料館、生方記念文庫、旧沼田貯蓄銀行、旧土岐家住宅洋館、旧生方家住宅、旧日本基督教団沼田教会記念会堂、利根沼田文化会館
	スポーツ施設	テラス沼田トレーニングプラザ、沼田市民体育館、利根農業者トレーニングセンター、沼田市運動公園陸上競技場・野球場・市民プール、利南運動公園野球場・テニスコート、利根柔剣道場、川田運動広場多目的広場、利根老神多目的広場、勤労青少年体育センター ほか18施設

分野	都市機能	主な施設
観光	観光施設等	玉原高原、たんばらラベンダーパーク、たんばらスキーパーク、サラダパークぬまた、道の駅白沢（白沢高原温泉望郷の湯）、南郷温泉しゃくなげの湯、吹割の滝
商業	大型商業施設	セキチュー沼田恩田店、カインズホーム沼田モール店、ベイシア沼田モール店、沼田ショッピングセンター、ケーズデンキ沼田パワフル館、フレッセイ沼田恩田店 ほか9施設 (店舗床面積1,000平方メートル以上の店舗)
	金融機関等	地方銀行支店2、信用金庫本支店7、信用組合支店2、労働金庫支店1、農業協同組合本支店4、郵便局11
公共交通	鉄道	J R上越線 2駅（沼田、岩本）
	高速道路、 主要幹線道路	関越自動車道（沼田 I C）、国道17号、国道120号、国道145号、国道291号
	一般乗合バス (圏域間)	鎌田線（みなかみ町～片品村） 猿ヶ京線（沼田市～みなかみ町） 永井線（沼田市～昭和村） 中野・生越循環線（沼田市～昭和村） 赤谷・桜循環線（沼田市～昭和村） 川場村循環線（沼田市～川場村）
行政機関	国の機関	前橋地方法務局沼田支局、前橋地方検察庁沼田支部、前橋地方・家庭裁判所沼田支部、沼田税務署、沼田労働基準監督署、ハローワーク沼田、利根川ダム統合管理事務所開発調査課、利根川ダム統合管理事務所菌原管理支所、林野庁森林技術総合研修所林業機械化センター、利根沼田森林管理署
	県の機関	利根沼田振興局、沼田警察署
	一部事務組合	利根沼田広域市町村圏振興整備組合、沼田市外二箇村清掃施設組合
情報	コミュニティ放送局	沼田エフエム放送

(2) 都市機能の利用状況

ア 医療関係

(ア) 病院群輪番制病院等の状況（令和元年度）

病院名	入院患者数(人)	外来患者数(人)
沼田病院	119	180
利根中央病院	463	2,528
群馬パース病院	5	4
内田病院	20	205
沼田脳神経外科	388	681
月夜野病院	14	62
上牧温泉病院	1	0
計	1,010	3,660

資料：利根沼田広域市町村圏振興整備組合

(イ) 休日夜間急患診療所の状況（令和元年度）

市町村名	患者数(人)	割合(%)
沼田市	1,106	59.3
片品村	36	1.9
川場村	70	3.8
昭和村	177	9.5
みなかみ町	241	12.9
その他	235	12.6
計	1,865	100.0

資料：利根沼田広域市町村圏振興整備組合

(ウ) 救急出動の状況（令和元年）

市町村名	出動件数(件)	輸送人員(人)
沼田市	2,541	2,390
片品村	390	358
川場村	186	177
昭和村	306	288
みなかみ町	1,226	1,162
その他	6	7
計	4,655	4,382

資料：利根沼田広域消防本部

イ 福祉関係

(ア) 利根沼田障害者相談支援センター利用状況（令和元年度）

市町村名	利用件数（件）	割合（％）
沼田市	2,691	69.2
片品村	139	3.6
川場村	94	2.4
昭和村	161	4.1
みなかみ町	735	18.9
その他	68	1.7
計	3,888	100.0

資料：沼田市社会福祉課

(イ) 愛宕老人ホーム利用状況（令和元年度）

市町村名	利用者数（人）	割合（％）
沼田市	4	22.2
片品村	2	11.1
昭和村	1	5.6
みなかみ町	8	44.4
その他	3	16.7
計	18	100.0

資料：愛宕老人ホーム

ウ 教育文化関係

(ア) 沼田市立図書館の利用状況（令和元年度）

市町村名	利用者数（人）	割合（％）	貸出冊数（冊）	割合（％）
沼田市	56,508	78.0	204,202	77.1
片品村	833	1.2	3,466	1.3
川場村	1,641	2.3	5,750	2.2
昭和村	4,494	6.2	17,168	6.5
みなかみ町	7,884	10.9	30,593	11.5
その他	1,056	1.5	3,777	1.4
計	72,416	100.0	264,956	100.0

資料：沼田市立図書館

(イ) 利根沼田文化会館利用状況（令和元年度）

利用件数（件）	788
利用者数（人）	54,572

資料：利根沼田文化会館

エ 環境・衛生関係

(ア) めまた聖苑の利用状況（令和元年度）

市町村名	利用件数（件）	割合（％）
沼田市	671	60.7
片品村	70	6.3
川場村	47	4.2
昭和村	99	9.0
みなかみ町	137	12.4
その他	82	7.4
計	1,106	100.0

資料：めまた聖苑

オ 運輸・交通関係

(ア) 関越自動車道沼田ＩＣの利用状況（令和元年度）

インターチェンジ	出口台数（台）		入口台数（台）	
	総数	1日平均	総数	1日平均
沼田	1,744,719	4,780	1,710,473	4,686

資料：NEXCO東日本 関東支社

カ その他

(ア) 消費生活センターの利用状況（令和元年度）

市町村名	相談件数（件）	割合（％）
沼田市	306	70.0
片品村	14	3.2
川場村	8	1.8
昭和村	27	6.2
みなかみ町	75	17.2
その他	7	1.6
計	437	100.0

資料：沼田市市民協働課

※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

第3章 圏域の将来像

1 定住自立圏形成の基本方針

我が国は、人口減少社会へ本格的に突入し、少子高齢化の急速な進行や、産業・経済のグローバル化など、これまでに経験したことのない大きな転換期をむかえています。

地方においても加速度的に進む人口減少や地域経済の低迷など、地方自治体を取り巻く環境は一層厳しいものとなっており、効率的かつ効果的な行政システムの構築が求められています。

そのような中、人口減少対策として、子育ての推進や雇用の創出、移住定住などに焦点化した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、結婚・出産・子育てしやすい環境の整備などにより少子化や人口の流出に歯止めをかけ、住みよい環境を確保し、活力ある社会を維持していくための施策に取り組んでいるところですが、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくためには、各自治体における行政運営に加え、それぞれが持つ都市機能や地域資源を有効に活用するとともに、様々な課題に対して相互に連携し、圏域全体で住民生活に必要な機能を確保・充実していくことが、これまで以上に重要となっています。

それぞれの自治を尊重し、特色をいかにしながら、相互に役割を分担することにより、連携、共生するとともに、「定住」のための暮らしに必要な諸機能を総体として確保し、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、全体として魅力あふれる地域の形成に努めます。

2 圏域の将来像

沼田市と片品村、川場村、昭和村及びみなかみ町の1市1町3村で形成する利根沼田圏域は、福島、栃木、新潟の3県に接し、歴史的、地形的につながりが深く、水清くみどり豊かな里として栄えてきました。

昭和44年、「利根沼田広域市町村圏」を組織し、自治体間の連携と効率的な運営に努め、消防業務や介護認定業務、文化会館や火葬場・斎場などの管理に関する事務の共同処理を行うほか、医療、福祉、教育、環境、観光など幅広い分野において、相互に連携、協力しながら地域の発展に努めているところではありますが、近年の社会構造の変化や人口の減少と少子高齢化に適切に対応していくためには、より一層、圏域全体で地域力を高め、住民が安心して暮らし続けられる地域社会の形成と、魅力ある地域づくりが必要となります。

利根沼田地域は、豊かな森林、水資源、地熱や風光明媚な観光資源をはじめ、エネルギーや食料の自給も可能で、地場産品による6次産業化や交流人口の拡大等によって、足腰の強い定住自立圏を確立できるポテンシャルを有しており、豊かな地域資源をいかした産業の振興による雇用の創出や、生活を支える基礎的な都市機能のほか、子育て世代が安心して暮らせる機能の充実、地域の魅力をいかし大都市圏から地方圏への人材環流の促進、圏域を牽引する人材の発掘・育成と、地域のマネジメント機能の充実など、地域資源を積極的に活用した振興策を進め、活力溢れる地域を目指します。

第4章 形成協定に基づき推進する具体的な取組

1 施策の体系表

3つの 視点	政策分野	連携事業	
		具体的な取組	内容（事業）
生活機能の 強化	(1) 医療	① 地域医療の連携強化	准看護学校補助事業 第2次救急医療体制の維持 及び確保
		② 地域医療体制の維持・充実	周産期医療体制維持補助事業
	(2) 福祉	① 子育て支援の充実	地域子育て支援拠点事業 ファミリー・サポート・センター 事業
		② 障がい者福祉の推進	利根沼田障害者相談支援センター 運営事業 あおぞら作業所運営事業
	(3) 教育	① 教育環境の整備・充実	利根沼田学校組合立高等学校 運営事業
		② 文化財保存・活用の推進	歴史資料展示施設の相互（広域） 利用事業
		③ 図書サービスの充実	図書館及び図書室の相互利用事業
		④ 生涯学習・スポーツ活動の推進	スポーツ施設の相互利用事業
	(4) 産業 振興	① 広域観光体制の充実	広域観光事業
	(5) 環境 ・衛生	① ごみ処理施設等の広域利用	処理施設の集約化
		② 火葬場の広域利用	火葬場の集約化
	(6) その他	① トレーニング施設の広域利用	テラス沼田「トレーニングプラザ」 の広域利用事業
		② 消費生活相談体制の強化	消費生活センター運営事業
結びつきやネ ットワークの 強化	(1) 地域 公共交通	① 地域公共交通の維持確保と 利用促進	地域公共交通対策事業
	(2) 交流 移住	② 移住・定住の促進	移住・定住促進事業
圏域マネジメ ント能力の強 化	(1) 人材 の育成	① 圏域内自治体職員の交流・ 合同研修	合同研修事業

2 生活機能の強化に係る政策分野

(1) 医療

① 地域医療の連携強化

事業名	准看護学校補助事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	利根沼田地区の看護教育機関として、地域住民に貢献する准看護師を養成するため、圏域内自治体の5市町村で一般社団法人沼田利根医師会沼田准看護学校の運営費の一部を補助する。					
役割分担	すべての自治体が運営費補助金を負担する。					
事業効果	圏域内における看護師の不足を補うことができる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	沼田准看護学校の入学者			24人	24人	
	卒業者の医療事業への従事者数			50% (進学50%)	50% (進学50%)	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	補助金の交付	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	2,052	2,052	2,052	2,052	2,052
活用を想定する 特定財源						

事業名	第2次救急医療体制の維持及び確保					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	入院治療を必要とする重症の救急患者に対応するため、病院群輪番制による第2次救急医療体制の整備・運営費の一部を補助する。					
役割分担	すべての自治体で運営費補助金を負担する。					
事業効果	入院治療を要する救急患者へ医療を提供できる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	参加医療機関数			7	7	
	救急患者対応数			17,283	17,283	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	補助金の交付	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	11,383	11,383	11,383	11,383	11,383
活用を想定する 特定財源						

② 地域医療体制の維持・充実

事業名	周産期医療体制維持補助事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内における周産期医療体制維持のため、圏域内の病院又は診療所における通常分娩を行う、産婦人科医師を確保する費用の財政支援をする。					
役割分担	すべての自治体が補助金を負担する。					
事業効果	圏域内において産婦人科医師の確保ができる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	産婦人科医師数			3人	3人	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	補助金の交付	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	-	-	10,000	10,000	10,000
活用を想定する 特定財源						

(2) 福祉

① 子育て支援の充実

事業名	地域子育て支援拠点事業					
連携自治体	沼田市、片品村					
事業内容	圏域内の子育て支援の充実を図るため、別表第1に定める地域子育て支援拠点の広域利用を図る。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：連携の促進					
事業効果	身近な場所での施設利用により、子育て中の親子の利便性が向上するほか、交流が活性化することにより、子育て支援の情報が共有できるなど、子育て環境が向上する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	利用者数			24,805人	24,805人	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	25,938	25,938	25,938	25,938	25,938
活用を想定する 特定財源						

事業名	ファミリー・サポート・センター事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内の子育て支援の充実を図るため、ファミリー・サポート・センター事業を圏域内の住民を対象に実施する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：連携の促進					
事業効果	会員の増加によって、人材が確保され多様な援助活動が可能となり、子育ての負担が軽減される。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	利用人数			446人/年	446人/年	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	3,660	3,660	3,660	3,660	3,660
活用を想定する 特定財源						

② 障がい者福祉の推進

事業名	利根沼田障害者相談支援センター運営事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内の障害のある人の自立した日常生活及び社会生活を支援するため、情報の提供や権利擁護の支援を行う利根沼田障害者相談支援センターを設置し、地域生活支援事業を実施する。					
役割分担	すべての自治体が必要な経費を負担する。					
事業効果	圏域内における障害者相談支援体制の充実が図られる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)		目標値 (達成年度)
	相談支援人数			3, 820件		3, 820件
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施(委託)	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	26, 962	26, 962	26, 962	26, 962	26, 962
活用を想定する 特定財源						

事業名	あおぞら作業所運営事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内の障害のある人等に創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進するため、地域活動支援センターを設置、運営する。					
役割分担	すべての自治体が必要な経費を負担する。					
事業効果	圏域内における障害者の活動支援体制の充実が図られる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)		目標値 (達成年度)
	通所者数(延通所者数)			1, 950人		1, 950人
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施(委託)	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	11, 061	11, 061	11, 061	11, 061	11, 061
活用を想定する 特定財源						

(3) 教育

① 教育環境の整備・充実

事業名	利根沼田学校組合立高等学校運営事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内において高等教育を受ける環境を整備し、地域社会を支える人材を育成するため、利根沼田学校組合立利根商業高等学校に対し運営支援を行う。					
役割分担	すべての自治体が運営費補助金を負担する。					
事業効果	圏域内において多様な高等教育の提供を行うことができる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)		目標値 (達成年度)
	卒業生数			136人		150人
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	補助金の交付	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	3,580	3,580	3,580	3,580	3,580
活用を想定する 特定財源						

② 文化財保存・活用の推進

事業名	歴史資料展示施設の相互（広域）利用事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	文化財への住民理解と保護意識の向上のため、別表第2に定める施設において、圏域内の文化財（展示資料）等の相互貸借や講演会、講習会、研究会、体験学習等を連携して開催する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：事業の推進、連携の促進					
事業効果	圏域住民への文化活動の機会を提供することにより、圏域内の歴史と文化の理解が促進される。観光資源の一つとして活用することができる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)		目標値 (達成年度)
	企画展開催日数			178日		202日
	観覧者数			9,274人		10,210人
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	12,486	8,985	8,985	8,985	8,985
活用を想定する 特定財源						

③ 図書サービスの充実

事業名	図書館及び図書室の相互利用事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内における読書活動等の推進と利便性向上のため、別表第3に定める図書館及び図書室の相互利用等、広域的な利活用を推進する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：事業の推進、連携の促進					
事業効果	蔵書や機能の充実により、圏域の図書利用者の利便性が向上するほか、読書会や講演会などのイベントにより、生涯学習環境の充実を図られる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	自治体外住民の利用者数			12,000人	13,000人	
	自治体外住民への貸出数			50,000冊	55,000冊	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	64,352	64,352	64,352	64,352	64,352
活用を想定する 特定財源						

④ 生涯学習・スポーツ活動の推進

事業名	スポーツ施設の相互利用事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内住民が、スポーツを通じて健康の増進と体位の向上を図るため、別表第4に定めるスポーツ施設の相互利用等、広域的な利活用を推進する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進、使用料の補填 連携自治体：事業の推進、連携の促進、使用料の補填					
事業効果	圏域内のスポーツ活動が多様化し、活動意欲の向上や健康増進が図られるとともに利用者間の交流が促進される。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (令和3年度)	目標値 (達成年度)	
	施設利用者数			209,963人	214,189人	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	197,625	203,874	205,241	206,622	208,017
活用を想定する 特定財源						

(4) 産業振興

① 広域観光体制の充実

事業名	広域観光事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域全体の観光PR活動や周遊観光の推進、国内外の旅行者獲得等を図るため、圏域自治体、観光協会及び観光事業に携わる各主体などにより広域観光振興体制を整備し、連携して事業を推進する。 また、令和5年度から令和7年度にかけては、圏域内の観光資源の発掘及び地場産品の開発のため、外部人材を招へいし、新商品等開発支援事業を実施する。なお、新商品等開発支援事業の負担割合については、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町がそれぞれ25万円を負担し、残額を沼田市が負担する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：事業の推進、連携の促進					
事業効果	圏域全体の知名度の向上や、観光客の広域周遊ニーズへの対応が可能となり、交流人口の拡大が期待できる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	圏域共同PRイベントの実施			4回	4回	
	新商品等開発支援事業参加事業者数				35者	
	新たな観光資源及び地場産品の開発数				8点	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	183,227	183,227	273,487	273,487	273,487
活用を想定する 特定財源						

(5) 環境・衛生

① ごみ処理施設等の広域利用

事業名	処理施設の集約化					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内住民の環境衛生の向上と施設の効率化を図るため、圏域自治体により協議、検討を行い、ゴミ処理施設の集約化を図る。					
役割分担	沼田市：事業の協議、検討及び推進、連携の促進 連携自治体：事業の協議、検討及び推進、連携の促進					
事業効果	圏域自治体の財政負担が軽減される。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)		目標値 (達成年度)
	利根沼田ブロック一般廃棄物処理広域 化協議会開催日数			3日		3日
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の検討	⇒	⇒			
	事業の実施			⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：			5,000	5,000	10,000
活用を想定する 特定財源						

② 火葬場の広域利用

事業名	火葬場の集約化					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内住民の環境衛生の向上と施設の効率化を図るため、個別に運営している水上、新治火葬場のぬまた聖苑への集約化に向けて検討を進める。					
役割分担	すべての自治体が運営費補助金を負担する。					
事業効果	圏域自治体の財政負担が軽減される。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)		目標値 (達成年度)
	連携のための検討会議開催回数			年1回		年1回
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の検討	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	46,809	46,809	46,809	46,809	46,809
活用を想定する 特定財源						

(6) その他

① トレーニング施設の広域利用

事業名	テラス沼田「トレーニングプラザ」の広域利用事業					
連携自治体	沼田市、昭和村					
事業内容	圏域内住民の健康づくりと介護予防の推進等を目的として、テラス沼田にトレーニングプラザを設置、運営し、広域的な利用を促進する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：連携の促進、利用料金の補填					
事業効果	圏域内住民の健全な心身の発達及び健康的な生活の向上が図られる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	トレーニングプラザ月会員数			273人	500人	
	トレーニングプラザ年間利用回数			35,807人	70,000人	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	28,804	27,736	27,763	20,091	20,118
活用を想定する 特定財源						

② 消費生活相談体制の強化

事業名	消費生活センター運営事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内住民の消費生活の安全と安心を確保するため、消費生活センターを設置し、消費生活相談等を受け付けるほか、講習会、講演会等の開催による啓発活動を実施する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：連携の促進、経費の負担					
事業効果	圏域内住民の利便性の向上及び消費者被害の未然防止が図られる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	相談解決率			97%	100%	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	14,232	14,232	14,232	14,232	14,232
活用を想定する 特定財源						

3 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通の維持確保と利用促進

事業名	地域公共交通対策事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域住民の交通手段の維持・確保のため、地域内における公共交通の課題解決に向けて調査・研究を行うとともに、地域間の交通ネットワークを整備し、委託路線バスの運行補助等を行う。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：事業の推進、連携の促進					
事業効果	圏域住民の圏域内における移動の利便性が向上する。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	公共交通の年間利用者数			97,350人	106,000人	
	担当者会議の開催			0回/年	1回/年	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	112,750	112,800	113,000	113,500	114,000
活用を想定する 特定財源						

(2) 交流移住

① 移住・定住の促進

事業名	移住・定住促進事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域自治体が連携して、移住希望者が必要とする情報及び支援を把握し、ニーズに合わせたサポートを行うとともに、相談会や体験会などを実施する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：事業の推進、連携の促進					
事業効果	移住希望者へのきめ細やかな対応と認知度の向上により、移住人口の増加が図られる。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		現状値 (調査時)		目標値 (達成年度)	
	圏域合同移住イベント開催 回数※オンライン含む		0回		5回	
	移住者数		片品2人、昭和6人、沼田15人、 みなかみ9人、川場19人		50人	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	18,074	18,074	18,074	18,074	18,074
活用を想定する 特定財源						

4 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 人材の育成

① 圏域内自治体職員の交流・合同研修

事業名	合同研修事業					
連携自治体	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町					
事業内容	圏域内自治体職員の能力及び資質の向上を図り、組織の活性化と職員を育成するため、合同で研修会等を実施する。					
役割分担	沼田市：事業の推進、連携の促進 連携自治体：連携の促進、経費の負担					
事業効果	各自治体の優れた取組、施策を習得できるほか、事業連携の機会が創出される。					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標			現状値 (調査時)	目標値 (達成年度)	
	研修実施回数			0回	3回	
	交流研修参加職員数			0人	285人	
スケジュール	取組内容	R3	R4	R5	R6	R7
	事業の実施	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
事業費見込 (千円)	合計：	60	120	120	320	320
活用を想定する 特定財源						

別表第 1（地域子育て支援拠点事業関係）

No.	名 称	所 在
1	子ども広場	沼田市下之町888番地 (テラス沼田6階)
2	チャイルドハウスめぐみ	沼田市清水町4330番地 (沼田めぐみこども園内)
3	沼田幼稚園子育て支援センター	沼田市坊新田町1105番地3 (認定こども園沼田幼稚園内)

別表第 2（歴史資料展示施設の相互（広域）利用事業関係）

<沼田市>

No.	名 称	所 在
1	沼田市歴史資料館	沼田市下之町888番地 (テラス沼田2階)

<川場村>

No.	名 称	所 在
1	川場村歴史民俗資料館	利根郡川場村天神1122

<昭和村>

No.	名 称	所 在
1	昭和村公民館展示室	利根郡昭和村大字糸井405-1

<みなかみ町>

No.	名 称	所 在
1	みなかみ町月夜野郷土歴史資料館	利根郡みなかみ町月夜野1814番地
2	みなかみ町水上歴史民俗資料館	利根郡みなかみ町湯原441番地

別表第3（図書館及び図書室の相互利用事業関係）

＜沼田市＞

No.	名 称	所 在
1	沼田市立図書館	沼田市西倉内町821番地1

＜片品村＞

No.	名 称	所 在
1	片品村図書室	利根郡片品村大字鎌田4010-1 (尾瀬じどうかん内)

＜川場村＞

No.	名 称	所 在
1	川場村文化会館図書室	利根郡川場村谷地2409-1

＜昭和村＞

No.	名 称	所 在
1	昭和村公民館図書室	利根郡昭和村大字糸井405-1

＜みなかみ村＞

No.	名 称	所 在
1	みなかみ町中央公民館図書室	利根郡みなかみ町後閑321番地1
2	みなかみ町水上公民館図書室	利根郡みなかみ町湯原441番地
3	みなかみ町新治公民館図書室	利根郡みなかみ町布施365番地
4	みなかみ町カルチャーセンター 児童図書室	利根郡みなかみ町上牧1735番地

別表第4（スポーツ施設の相互利用事業関係）

<沼田市>

No.	名 称	所 在
1	沼田市民体育館	沼田市東原新町1801番地1
2	運動公園 野球場	沼田市碓田町626番地
3	運動公園 陸上競技場	沼田市碓田町626番地
4	運動公園 補助競技場	沼田市碓田町626番地
5	運動公園 市民プール	沼田市碓田町626番地
6	利南運動公園 野球場	沼田市沼須町407番地
7	利南運動公園 テニスコート	沼田市沼須町407番地
8	沼田市武道館	沼田市東原新町1801番地40
9	利根柔剣道場	沼田市利根町追貝398番地
10	利根園原ふれあい屋内運動場	沼田市利根町園原701番地3
11	利根農業者トレーニングセンター	沼田市利根町輪組867番地2
12	旧利南中学校運動広場 多目的広場	沼田市上沼須町366番地1
13	川田運動広場 多目的広場	沼田市下川田町1533番地
14	川田運動広場 テニスコート	沼田市下川田町1533番地
15	川田運動広場 ゲートボール場	沼田市下川田町1533番地
16	ニュースポーツ広場 グラウンド (ターゲットバード) ゴルフコース	沼田市発知新田町19番地1
17	ニュースポーツ広場 ゲートボール場	沼田市発知新田町19番地1
18	白沢農民広場	沼田市白沢町高平102番地2
19	利根平川運動広場	沼田市利根町追貝2099番地
20	利根老神多目的広場	沼田市利根町老神361番地
21	利根菌原球技場	沼田市利根町園原地内 (ダム管理地)
22	利根南部山村広場	沼田市利根町輪組871番地

23	利根南部山村広場テニスコート	沼田市利根町輪組869番地
24	白沢弓道場	沼田市白沢町平出135番地1
25	利根トレーニングハウス	沼田市利根町大楊1089番地

<片品村>

No.	名 称	所 在
1	片品村民運動場	利根郡片品村大字須賀川 乙284番地
2	片品村弓道場	利根郡片品村大字鎌田 4476-12番地
3	片品村東小川体育館	利根郡片品村大字東小川3017番地
4	片品村土出グラウンド	利根郡片品村大字土出1957番地
5	片品村土出体育館	利根郡片品村大字土出1957番地
6	片品村花咲グラウンド	利根郡片品村大字花咲2118番地
7	片品村武尊根体育館	利根郡片品村大字摺淵307番地

<川場村>

No.	名 称	所 在
1	川場村屋内ゲートボール場	利根郡川場村天神1138-1
2	川場村武道館(柔道場・剣道場)	利根郡川場村天神1138-1
3	川場村弓道場	利根郡川場村天神1138-1
4	スポーツジム	利根郡川場村天神1138-1

<昭和村>

No.	名 称	所 在
1	昭和村総合運動公園 多目的グラウンド	利根郡昭和村大字糸井5895番地
2	昭和村総合運動公園 野球場	利根郡昭和村大字糸井5895番地
3	昭和村総合運動公園 テニスコート	利根郡昭和村大字糸井5895番地

4	昭和村総合運動公園 ターゲットバードゴルフ場	利根郡昭和村大字糸井5895番地
5	昭和村総合運動公園 グラウンドゴルフ場	利根郡昭和村大字糸井5895番地
6	ふれあいグリーンパーク	利根郡昭和村大字糸井5899番地
7	昭和村社会体育館	利根郡昭和村大字森下895番地
8	昭和村多目的屋内運動場	利根郡昭和村大字糸井588番地
9	昭和村弓道場	利根郡昭和村大字糸井1287番地

<みなかみ町>

No.	名 称	所 在
1	みなかみ町月夜野総合グラウンド 野球場	利根郡みなかみ町下津字沼田地先
2	みなかみ町月夜野総合グラウンド サッカー場	利根郡みなかみ町下津字沼田地先
3	みなかみ町月夜野総合グラウンド バードゴルフ場	利根郡みなかみ町下津字沼田地先
4	月夜野緑地施設内運動広場 緑地広場ホッケー場	利根郡みなかみ町月夜野143
5	総合体育館 アリーナ	利根郡みなかみ町月夜野135-3
6	総合体育館 トレーニング室	利根郡みなかみ町月夜野135-3
7	総合体育館 柔道場	利根郡みなかみ町月夜野135-3
8	総合体育館 剣道場	利根郡みなかみ町月夜野135-3
9	みなかみ町月夜野多目的広場 グラウンドゴルフ	利根郡みなかみ町後閑38

利根沼田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

(設置)

第1条 定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）に基づき、利根沼田地域定住自立圏共生ビジョン（以下「共生ビジョン」という。）を策定し、又は変更するに当たり、関係者の意見を幅広く反映するため、利根沼田地域定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 共生ビジョンの策定又は変更に関すること。
- (2) その他利根沼田地域定住自立圏構想の推進に関すること。

(委員)

第3条 懇談会の委員は、30人以内とし、次に掲げる者のうちから沼田市長が委嘱する。

- (1) 利根沼田地域定住自立圏形成協定に掲げる取組事項に関連する分野の関係者
 - (2) 前号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者
- 2 懇談会の委員の任期は、委嘱の日から当該委嘱の日の属する年度の末日までとし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第4条 懇談会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、懇談会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 懇談会は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(庶務)

第6条 懇談会の庶務は、沼田市企画政策課において処理する。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年11月30日から施行する。